

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

項目 番号	第 9 期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	重点施策・拡充事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策
1	①自立支援、介護予防、重度化防止	課題(1)介護予防・健康づくりの充実 ○生活機能評価より、リスクの該当状況は、「認知機能の低下」が50.0%、「うつ傾向」が45.5%、「転倒リスク」が36.9%、「閉じこもり傾向」が29.3%などとなっている。 ○アンケート調査から、今後参加したい活動は、「体を動かす体操や運動の教室」が44.8%と最も多くっており、身近な活動の場の提供が求められている。	○「通いの場」の立ち上げと運営支援（P54 第4章－1－(1) 元気な高齢者の介護予防活動の促進－①）	「通いの場」の実施状況 (R5) (R6) (R7) (R8) 実施か所数 36 34 36 38 参加者数 550 600 630 660 ※新たな地域での「通いの場」の設置を推進 ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	「通いの場」の実施状況 実施か所数 (R7)： 37か所 参加者数 (R7)： 568人	◎	順調に増加していたが、令和7年度では新規立ち上げ団体が無く、現状維持となった。 今後は既存団体の活動継続支援を中心に、未設置の地区（富浦地区、滝郷地区、鶴巻地区）の推進に注力する。
2	①自立支援、介護予防、重度化防止	課題(2)地域における支え合いの充実 ○本市の高齢者を含む世帯は、世帯数、構成比ともに増加しており、高齢独居世帯、高齢夫婦世帯いずれについても増加している。 ○地域のつながりの中で高齢者が互いに支えあい、生活機能の低下を予防する活動に主体的に取り組んでいけるよう、地域の支援者の養成や、自主的な介護予防活動を行う場の提供が求められている。	○地域介護予防活動の支援（P56 第4章－1－(1)－④）	地域組織の研修（民生委員・地区社協・認知症サポーター・介護予防サポーター）、通いの場の育成支援 (R5) (R6) (R7) (R8) 開催回数 155 35 35 35 参加者数 1,965 800 820 840 ※地域の各種団体に対し研修を実施する ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	地域組織の研修（地区民協・地区社協・認知症サポーター・介護予防サポーター）、通いの場の育成支援 開催回数 (R7)： 31回 参加者数 (R7)： 501人	○	既存団体に対し、支えられる側、支える側の介護予防・支援の意識啓発と、実際の支援につなげられるよう継続していく。 また、地域の民生委員や社会福祉協議会とも連携し、推進していく。
3	①自立支援、介護予防、重度化防止	課題(1)介護予防・健康づくりの充実 ○介護支援専門員に今後充実させるべき事業をたずねたところ、「閉じこもり予防」が72.7%で最も多く、続いて「運動器の機能向上」が62.1%、「認知症予防」が59.1%が上位に挙げられた。 課題(2)地域における支え合いの充実 ○地域活動への企画・参加者として3割が参加してもよいと回答しており、地域の担い手としての参画が期待される。 ○地域住民の参画を促し、公的な支援と民間の支援が一体となって高齢者のフレイル予防や、介護予防・重度化防止の取り組みを進めることが求められている。	○通所型サービス（P61 第4章－1－(2)－③）	通所型サービス (R5) (R6) (R7) (R8) 介護予防通所介護相当サービス 580 630 650 650 通所型サービスA 1,450 1,482 1,500 1,500（機能向上型サービス） 通所型サービスA 133 144 150 150（介護予防ミニ型サービス） 通所型サービスB 49 100 110 120 通所型サービスC 112 480 500 500 ※要支援1・2の介護認定を受けた方や、事業対象と判定された方を対象に、多様なサービスによる再自立に向けた取組を推進する ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	通所型サービス 介護予防通所介護相当サービス (R7)： 377延人 通所型サービスA (R7)： 1,049延人（機能向上型サービス） 通所型サービスA (R7)： 0延人（介護予防ミニ型サービス） 通所型サービスB (R7)： 63延人 通所型サービスC (R7)： 82延回数	△	NPO法人や地域ボランティア等、住民が主体となって生活支援や介護予防体操等を提供する団体が、声掛け等を行ってもなかなか増えていかない。 また、ケアマネジャーに対し通所型C（短期集中リハビリテーション）の活用方法について再周知を行った結果、リハビリ同行訪問件数は増加したが、通所型Cの利用者は伸び悩んでいる。 今後は、市民や関係団体への周知と調整をより拡大していく。
4	①自立支援、介護予防、重度化防止	課題(4)在宅支援の充実 ○市に力を入れてほしい高齢者施策については、一般高齢者、在宅介護者ともに「在宅福祉サービスの充実」が最も多く、次いで「緊急時・災害時の支援体制の充実」となっている。 ○地域包括支援センターを中核として、支援の入り口となる相談機能の充実を図り、必要なサービスや支援につなげていくことが求められている。	○総合相談支援事業（P66 第4章－2－(2)－②）	総合相談支援事業 (R5) (R6) (R7) (R8) 相談件数 5,260 6,000 6,000 6,000 ※高齢者及び家族等からの相談支援を行い、必要なサービス利用につなぐための調整を行う ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	総合相談支援事業 相談件数 (R7)： 5,576件	◎	基幹型包括に加え、委託型包括（3か所）があり、地域の総合相談窓口として定着してきている。 反面、相談内容が介護に限らず複雑化・重層化してきている傾向があり、相談件数の増減のみでは評価は困難。 引き続き、関係機関と連携強化し、対応していく。

項目 番号	第 9 期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	重点施 策・拡充 事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策
5	①自立支援、介護予防、重度化防止	主な課題(2)地域のおける支え合いの充実 ○アンケート調査によると、在宅での生活を継続していくための必要なサービスとして、一般高齢者からは「移送サービス」が高くあげられている。 ○令和4年度までは、自家用有償旅客運送により市が所有する専用車両を用いて送迎を行っていたが、予約が煩雑であること、利用回数の減少、車両の老朽化等からこれを廃止し、市内の介護タクシーの普及状況から、令和5年度より、民間タクシーの利用者に対して利用券による助成事業に切り替えている。	○外出支援サービス事業 (P70 第4章－2－(5)生活支援サービスの提供－①)	外出支援サービス事業 (R5) (R6) (R7) (R8) 登録者数 64 80 85 90 利用者数 45 72 77 81 利用回数 717 600 640 670 ※一般の交通機関を利用することが困難な、下肢の不自由な高齢者等に対し、医療機関の受診や入退院の際にタクシーを利用する場合に、タクシー料金の全部または一部を助成する ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	外出支援サービス事業 登録者数 (R7)： 94実人 利用者数 (R7)： 68実人 利用回数 (R7)： 1,177回	◎	令和6年度から利用方法を変更し、利便性が高くなったことにより、登録者数と利用回数が大幅に向上した。 今後は利用者の増加も見込まれることから、対象者の再検討と、利用事務手続き等の見直しが必要。
6	②介護給付等費用の適正化	主な課題(7)介護サービス基盤の充実・介護人材対策の充実 ○認知症対応型共同生活介護（グループホーム）1か所（2ユニット・18名）については、令和3年度事業として実施し、令和3年9月に開設。旭市内には計6か所の認知症対応型共同生活介護（グループホーム）が整備されている。 ○団塊の世代が全員75歳以上となる令和7年を迎え、医療・介護双方を必要とする要介護者の増加が見込まれている。	○地域密着型サービス／地域密着型介護予防サービス (P88 第4章－5－(2)－②)	地域密着型サービス／地域密着型介護予防サービス 整備計画 (R5) (R6) (R7) (R8) 看護小規模多機能型居宅介護 - 3 - 小規模多機能型居宅介護 - 1 - ※居宅要介護者の在宅生活を支えるための看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護の事業所等の参入基盤の強化のため、令和7年度に公募を実施 ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	地域密着型サービス／地域密着型介護予防サービス 整備計画 看護小規模多機能型居宅介護 (R7)：1か所 小規模多機能型居宅介護 (R7)：応募なし	△	介護人材の不足もあつてか、募集に対して、看護小規模多機能型居宅介護のみ、2法人2か所の応募であった。 このうち1法人については審査基準を満たさなかったため、1次審査を通過できなかった。 残りの1法人も着工まで想定外の準備期間を要し、R8へ工事を繰り越すこととなった。
7	②介護給付等費用の適正化	主な課題(7)介護サービス基盤の充実・介護人材対策の充実 ○本市の高齢率は年々上昇しており、また本市では施設サービスの受給率が全国及び千葉県よりも高い水準にあるため、地域特性や人的基盤等を考慮したサービス提供体制の整備が求められている。	○施設サービス (P89 第4章－5－(2)－③)	広域型特別養護老人ホーム 整備計画 (R5) (R6) (R7) (R8) 広域型特別養護老人ホーム（か所） - 1 - "（床） - 80 - ※計画に従い整備を進める ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	広域型特別養護老人ホーム 整備計画 広域型養護老人ホーム (R6)：1か所 " (R6)：80床 ※R7, R8は計画なし	◎	令和6年12月に特別養護老人ホーム1か所80床が開設。 高齢化に伴い施設サービスのニーズが高くなることが予想されるため、入所待機者数や施設の利用状況の把握に努めている。
8	②介護給付等費用の適正化	主な課題(7)介護サービス基盤の充実・介護人材対策の充実 ○慢性的な人材不足に高齢化による退職が重なった場合、将来的に増大する介護サービスの需要を支えきれない可能性があるため、若い年代からの介護人材育成を視野に入れ、介護人材を確保する対策を強化し、長期的に継続していく必要がある。 ○介護未経験の求職者などを対象とした、介護職員初任者研修に加え介護福祉実務者研修の受講も支援し、人材不足解消と所改善につなげる。	○介護職員初任者研修の受講支援 (P91 第4章－5－(4)介護人材確保の推進－①)	初任者研修等受講費用助成 (R5) (R6) (R7) (R8) 初任者研修受講者数 4 4 4 4 実務者研修受講者数 3 3 3 3 ※介護職員初任者研修などを受講した者に対して、受講費用の一部を助成 ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	○	初任者研修等受講費用助成 初任者研修受講者数 (R7)：0人 実務者研修受講者数 (R7)：1人	×	介護人材の不足を反映してか、受講希望者がいない。 関係機関と協力しながらより一層の周知に努めていく。

項目 番号	第 9 期介護保険事業計画に記載の内容					令和7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	重点施 策・拡充 事業	実施内容	自己評価 結果	課題と対応策
9	②介護給付等費用の適正化	主な課題(7)介護サービス基盤の充 実・介護人材確保 ○慢性的な人材不足に高齢化によ る退職が重なった場合、将来的に増 大する介護サービスの需要を支えさ れない可能性があるため、若い年代 からの介護人材育成を視野に入 れ、介護人材を確保する対策を強化 し、長期的に継続していく必要があ る。 ○介護人材の確保については令和 3年度より事業化しているが、短期 間での成果は見込めないため、じっ くりと腰を落착け、長いスパンで じっくりと取り組む必要がある。	○福祉系学生と介護職との交 流事業 (P91 第4章－5－(4) －②)	交流事業支援 (R5) (R6) (R7) (R8) 交流事業 参加人数 22 30 30 30 ※福祉系の大学や専門校の学生と、市内介護 施設や市内で働く現役の介護職との交流事業 開催を支援する ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	○	交流事業支援 交流事業 参加人数 (R7)：34人	◎	大学側の協力により、参加する学生が大幅に増えた。 打合せ時に、昨年参加した学生が旭市内の介護施設に就職した 旨報告があり、協力いただいている市内事業所やボランティアス タッフから喜びの声が上がった。
10	②介護給付等費用の適正化	主な課題(7)介護サービス基盤の充 実・介護人材確保 ○高齢化率は年々上昇していること から、今後も介護給付費は増加して いくことが見込まれるため、適正な 認定や必要とするサービスが提供で きるよう、介護給付適正化の取り組 みを充実していくことが求められる。	○ケアプラン等の点検 (P112 第5章－4－(1)－②)	i ケアプラン等の点検の実施 (R5) ①ケアプラン点検業務委託事業所 5事業 所 ②適正化支援システムによる点検数 88 ③実地指導による点検事業所数 4 ④利用確認書による点検数 64 合計点検数 (R5)： 161 (R6) ① “ ② “ ③ “ ④ “ 合計点件数 (R6)： 161 (R7) ① “ ② “ ③ “ ④ “ 合計点件数 (R7)： 161 (R8) ① “ ② “ ③ “ ④ “ 合計点件数 (R8)： 161 ※R5以前は実績値、R6以降は目標値	◎	i ケアプラン等の点検の実施 ①ケアプラン点検業務委託事業所 (R7)：8事 業所 ②適正化支援システムによる点検数 (R7)：207 件 ③実地指導による点検事業所数 (R7)：3 件 ④利用確認書による点検数 (R7)：73 件 合計点検数 (R7)：291件	◎	ケアプラン点検作業を委託することにより、継続的に質の高いケ アプラン点検を実施することができている。

※行が足りない場合は追加してください。なお、計画に定めた全ての取組と目標についてご報告ください。